

2019年度 病院医学教育研究助成成果報告書

| | |
|---------------|----------------|
| 報告書提出年月日 | 2020年3月31日 |
| 研究・研修課題名 | 第3回ゲノム病理標準化講習会 |
| 研究・研修組織名(所属) | 病理部 |
| 研究・研修責任者名(所属) | 長崎 雅幸(病理部) |
| 研究・研修実施者名(所属) | 長崎 雅幸(病理部) |

| | |
|-----------------|---|
| 成果区分 | <input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果(がんゲノム検体取扱い) |
| 該当者名(所属) | 長崎 雅幸(病理部) |
| 学会名(会期・場所)、認定名等 | 第3回ゲノム病理標準化講習会(2019/4/20、東京大学医学部) |
| 演題名・認証交付元等 | |
| 取得日・認定期間等 | |
| 診療報酬加算の有無 | <input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無 |

目的及び方法、成果の内容① 目的

ゲノム病理標準化講習会は日本病理学会主催の講習会で、ゲノム研究・ゲノム医療における病理組織検体の取扱いおよび組織バンキング等に関する講習会である。本講習会へ参加することにより、ゲノム医療に適した病理組織検体の取扱いについて理解を深めることを目的とする。

② 方法

第3回ゲノム病理標準化講習会に参加する。

日時：2019年4月20日(土) 9:30～16:00

会場：東京大学医学部 教育研究棟 14階 鉄門記念講堂

② 成果

がんゲノム医療の推進、拡大に伴い、病理検査に求められる役割は大きくなっている。特に病理組織検体の核酸品質がゲノム診断に大きく影響するため、ゲノム診断に適した高い品質の病理組織検体が要求される。

本講習会では、日本病理学会が策定したゲノム研究用・診療用病理組織検体取扱い規程に基づき、検体の取扱いと核酸品質に対する影響について学び、適切な病理検体取扱いについて理解を深めることができた。また、病理検体の核酸品質の指標や、検体品質が遺伝子パネル検査に与える影響などについても学ぶことができた。検体の品質は、検体採取の段階から様々な要因に影響されるため、検体の適切な管理の重要性を再認識した。

がん遺伝子パネル検査の保険収載に伴い、がんゲノム検査は本院でも今後ますます増加すると思われる。本講習会で得られた成果を今後のがんゲノム医療に還元できたらと考える。